

検査値付き院外処方せんを受け取り、近隣調剤薬局で処方薬を交付された患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされており、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 院外処方せんへの臨床検査値等付加による医療安全への貢献度調査

[研究機関] 北海道大学病院薬剤部

[研究責任者] 井関 健 (薬剤部・薬剤部長)

[研究の目的]

血液検査データは、薬剤の投与量や副作用等を確認するために重要な結果です。投与量を決定するうえで腎機能や肝機能等の確認が必要な新薬も多く発売されています。処方せんを受理する調剤薬局においても、処方の確認・監査において、検査データの必要性が強くなっています。

当院では、2013年9月24日より、院外処方せんに検査値等の印字を開始しました。処方に疑問がある場合には、調剤薬局の薬剤師は、医師へ問い合わせ(疑義照会)を行います。本調査では、その問い合わせ内容を精査し、検査値がどの程度有効に活用されているか検証することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院で平成24年9月～平成26年9月までの期間に院外処方せんが発行され、近隣調剤他薬局から当院への疑義照会が発生した患者さん。

●利用する情報

年齢、性別、診療科、処方内容、疑義照会内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院薬剤部 担当者 井関 健

電話 011-706-5680 FAX 011-706-7616